

司書資格取得専門教育科目

授 業 科 目		必修	開講時期	計	備 考
基礎 科目	生涯学習概論	2	前期	2	奇数の年度（隔年開講）
	図書館概論	2	前期	2	偶数の年度（隔年開講）
	図書館制度・経営論	2	前期	2	奇数の年度（隔年開講）
	図書館情報技術論	2	後期	2	偶数の年度（隔年開講）
図書館 サービスに 関する科 目	図書館サービス概論	2	後期	2	奇数の年度（隔年開講）
	情報サービス論	2	前期	2	奇数の年度（隔年開講）
	児童サービス論	2	前期	2	偶数の年度（隔年開講）
	情報サービス演習	2	後期	2	奇数の年度（隔年開講）
図書館 情報資 源に関 する科 目	図書館情報資源概論	2	後期	2	偶数の年度（隔年開講）
	情報資源組織論	2	前期	2	偶数の年度（隔年開講）
	情報資源組織演習	2	後期	2	偶数の年度（隔年開講）
選択 科目	図書館サービス特論	1	前期	1	偶数の年度（隔年開講）
	図書・図書館史	1	前期	1	偶数の年度（隔年開講）
合 計		24		24	

科目名 生涯学習概論	法定科目名 生涯学習概論
------------	--------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、教育に関する法律・自治体行財政・施策、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本を理解する。

● 科目概要

生涯学習の概念・政策の歴史について理解した上で、わが国の生涯学習の現状や課題、行政が社会教育に果たす役割を認識する。社会教育施設・生涯学習施設としての図書館、学校教育・家庭教育等との関連について考え、それぞれの役割や連携について解説する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	生涯学習とは何か
第 2 回	講義	生涯学習・生涯教育論の展開と学習の実際
第 3 回	講義	生涯学習社会における家庭教育・学校教育・社会教育の役割と連携
第 4 回	講義	生涯学習を支える学習機会
第 5 回	講義	生涯学習と学校教育
第 6 回	講義	生涯学習振興施策の立案と推進
第 7 回	講義	教育の原理とわが国における社会教育の意義・発展・特質
第 8 回	講義	社会教育行政の意義・役割と一般行政との連携
第 9 回	講義	自治体の行財政制度と教育関連法規
第 10 回	講義	社会教育の内容・方法・形態（学習情報の提供と学習相談、評価を含む）
第 11 回	講義	社会教育の内容・方法・形態（学習情報の提供と学習相談、評価を含む）
第 12 回	講義	学習への支援と学習成果の評価と活用
第 13 回	講義	社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営と連携
第 14 回	講義	社会教育指導者の役割
第 15 回	講義	まとめ

科目名 図書館概論	法定科目名 図書館概論
-----------	-------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

図書館の機能や社会における意義や役割について理解を図り、図書館の歴史と現状、館種別図書館と利用者ニーズ、図書館職員の役割と資格、類縁機関との関係、今後の課題と展望等の基本を理解する。

● 科目概要

図書館の現状と動向、今後の課題と展望、図書館の社会的意義、知的自由と図書館、図書館の歴史、館種別図書館と利用者ニーズ、図書館職員の役割と資格などを理解させるとともに、図書館の課題と展望を解説する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	図書館の現状と動向について
第 2 回	講義	館種別図書館の現状と動向について
第 3 回	講義	図書館の構成要素と機能 (1) 図書館資料、予算
第 4 回	講義	図書館の構成要素と機能 (2) 図書館職員 (3) 図書館施設
第 5 回	講義	図書館の社会的意義
第 6 回	講義	図書館の社会的意義 (ユネスコ公共図書館宣言、地域社会と図書館を含む)
第 7 回	講義	知的自由と図書館 (図書館の自由に関する宣言等)
第 8 回	講義	図書館の歴史
第 9 回	講義	公立図書館の成立と展開
第 10 回	講義	館種別図書館と利用者のニーズ
第 11 回	講義	館種別図書館と利用者のニーズ
第 12 回	講義	図書館職員の役割、資格
第 13 回	講義	図書館の類縁機関・関係団体 (文書館を含む)
第 14 回	講義	図書館の類縁機関・関係団体 (文書館を含む)
第 15 回	講義	図書館の今後の課題、展望

科目名 図書館情報技術論	法定科目名 図書館情報技術論
--------------	----------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

図書館業務に必要なネットワークに関わるサービスに携わる際の前提となる用語や概念、個人情報の流出やウェブサイトの改ざんを防ぐために必要な知識の理解・修得を図る。

● 科目概要

図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、必要に応じて演習を行う。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	コンピュータとネットワークの基礎
第 2 回	演習	コンピュータとネットワークの基礎
第 3 回	講義	情報技術と社会
第 4 回	講義	図書館における情報技術活用の現状
第 5 回	講義	図書館業務システムの仕組み (ホームページによる情報の発信を含む)
第 6 回	演習	図書館業務システムの仕組み (ホームページによる情報の発信を含む)
第 7 回	講義	データベースの仕組み
第 8 回	演習	データベースの仕組み
第 9 回	講義	検索エンジンの仕組み
第 10 回	演習	検索エンジンの仕組み
第 11 回	講義	電子資料の管理技術
第 12 回	講義	コンピュータシステムの管理 (ネットワークセキュリティを含む)
第 13 回	講義	コンピュータシステムの管理 (ソフトウェア・データ管理を含む)
第 14 回	講義	デジタルアーカイブ
第 15 回	講義	最新の情報技術と図書館

科目名 図書館制度・経営論	法定科目名 図書館制度・経営論
---------------	-----------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

図書館法、各種関連法律、法規、図書館政策、図書館の組織・職員・施設設備、危機管理などの基本を理解し、図書館のサービス計画・予算確保、サービス調査・評価の手法についての学習を通し多様化する図書館の管理形態を理解する。

● 科目概要

図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、職員や施設などの経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	図書館法（逐条解説）
第 2 回	講義	他館種の図書館に関する法律等（学校図書館法、国立国会図書館法、大学設置基準、身体障害者福祉法）
第 3 回	講義	図書館サービス関連法規（子どもの読書活動推進法、文字・活字文化振興法、著作権法、個人情報保護法、労働関係法規、民法等）
第 4 回	講義	図書館サービス関連法規（子どもの読書活動推進法、文字・活字文化振興法、著作権法、個人情報保護法、労働関係法規、民法等）
第 5 回	講義	図書館政策（国、地方公共団体）
第 6 回	講義	公共機関・施設の経営方法（マーケティング、危機管理を含む）
第 7 回	講義	公共機関・施設の経営方法（マーケティング、危機管理を含む）
第 8 回	講義	図書館の組織・職員（組織構成、館長の役割、人事管理、図書館協議会、ボランティアとの連携）
第 9 回	講義	図書館の組織・職員（組織構成、館長の役割、人事管理、図書館協議会、ボランティアとの連携）
第 10 回	講義	図書館の施設・設備
第 11 回	講義	図書館のサービス計画と予算の確保
第 12 回	講義	図書館のサービス計画と予算の確保
第 13 回	講義	図書館業務・サービスの調査と評価
第 14 回	講義	図書館業務・サービスの調査と評価
第 15 回	講義	図書館の管理形態の多様化

科目名 図書館サービス概論	法定科目名 図書館サービス概論
---------------	-----------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

図書館サービスの考え方、図書館サービスの変遷、利用案内、リファレンスサービス等の基本を理解し、図書館サービスの連携協力、障害者・高齢者サービスなどの関わり、著作権などを理解したうえで適切な図書館サービスとリファレンス、コミュニケーションが図れる力を養成する。

● 科目概要

図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障害者・高齢者・多文化サービスなどの各種サービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を解説する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	図書館サービスの考え方と構造
第 2 回	講義	図書館サービスの変遷（図書館法制定以降）
第 3 回	講義	資料提供サービスの基本（利用案内・貸出・予約サービスの流れと相互の関係）
第 4 回	講義	資料提供サービスの基本（利用案内・貸出・予約サービスの流れと相互の関係）
第 5 回	講義	情報提供の形態と機能（リファレンスサービス）
第 6 回	講義	情報提供の形態と機能（情報発信、講座・セミナー）
第 7 回	講義	図書館サービスの連携・協力（図書館ネットワークの意義と形態）
第 8 回	講義	図書館サービスの連携・協力（図書館ネットワークの意義と形態）
第 9 回	講義	課題解決支援サービス
第 10 回	講義	課題解決支援サービス
第 11 回	講義	障害者サービス
第 12 回	講義	高齢者サービス、多文化サービス
第 13 回	講義	図書館サービスと著作権
第 14 回	講義	利用者に対する接遇・コミュニケーション
第 15 回	講義	利用者に対する広報、まとめ

科目名 情報サービス論	法定科目名 情報サービス論
-------------	---------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等のサービス方法、参考図書・データベース等の情報源、図書館利用教育、発信型情報サービスなどの新しいサービスについて理解する。

● 科目概要

図書館の情報サービスの意義と種類、レファレンスサービスの理論と実際、情報検索サービスの理論と方法、各種情報源の特質と利用方法などについて解説し、発信型情報サービス・図書館利用教育について学習する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	情報社会と図書館の情報サービス
第 2 回	講義	図書館における情報サービスの意義と種類（レファレンスサービス、レフェラルサービス、カレントアウェアネスサービス、読書相談、利用案内等）
第 3 回	講義	図書館における情報サービスの意義と種類（レファレンスサービス、レフェラルサービス、カレントアウェアネスサービス、読書相談、利用案内等）
第 4 回	講義	レファレンスサービスの理論（利用者の情報行動、レファレンスプロセス、事例の活用、組織と担当者、サービスの評価等）
第 5 回	講義	レファレンスサービスの理論（利用者の情報行動、レファレンスプロセス、事例の活用、組織と担当者、サービスの評価等）
第 6 回	講義	レファレンスサービスの実際（レファレンスサービスの体制づくり・実施・普及、現状と問題点）
第 7 回	講義	レファレンスサービスの実際（レファレンスサービスの体制づくり・実施・普及、現状と問題点）
第 8 回	講義	情報検索サービスの理論と方法
第 9 回	講義	各種情報源の特質と利用法
第 10 回	講義	各種情報源の解説と評価（参考図書、ネットワーク情報資源等を含む）
第 11 回	講義	各種情報源の組織化（二次資料の作成、情報発信を含む）
第 12 回	講義	発信型情報サービスの意義と方法
第 13 回	講義	発信型情報サービスの意義と方法
第 14 回	講義	図書館利用教育（情報リテラシーの育成を含む）
第 15 回	講義	まとめ

科目名 児童サービス論	法定科目名 児童サービス論
-------------	---------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

子どもにとっての読書の意義と児童の発達段階に応じた絵本・お話が果たす役割について理解する。選書のための基礎知識と、優れた絵本・児童文学を知る。児童と本とを結ぶサービスの実際を、体験を通して理解する。読み聞かせの基本技能を修得する。

● 科目概要

児童を対象に、発達と学習における読書の役割、年齢層別サービス、絵本・物語等の資料、読み聞かせ、学校との協力等について解説し、必要に応じて演習を行う。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	発達と学習における読書の役割
第 2 回	講義	児童サービスの歴史、意義・目的
第 3 回	講義	児童資料（絵本）
第 4 回	講義	児童資料（物語と伝承文学、知識の本）
第 5 回	講義	児童サービスの実際 （資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等）
第 6 回	演習	児童サービスの実際 （資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等） 発達段階に合わせた児童サービス 1（乳児期）
第 7 回	演習	児童サービスの実際 （資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等） 発達段階に合わせた児童サービス 2（幼児期の子ども）
第 8 回	演習	児童サービスの実際 （資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等） 発達段階に合わせた児童サービス 3（小学校低・中・高学年の子ども）
第 9 回	講義	児童サービスの実際 （資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等） おはなし会のもち方など
第 10 回	講義	乳幼児サービス（ブックスタート等）と資料
第 11 回	講義	ヤングアダルトサービスと資料
第 12 回	講義	学習支援としての児童サービス（図書館活用指導・レファレンスサービス）
第 13 回	講義	学校、学校図書館の活動（公立図書館との相違点を含む）
第 14 回	講義	学校、家庭、地域との連携・協力
第 15 回	演習	読み聞かせ実演と総合まとめ

科目名 情報サービス演習	法定科目名 情報サービス演習
--------------	----------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

情報サービスの設計から評価にいたる各種の業務、利用者の質問に対するレファレンスサービスと情報検索サービス、積極的な発信型情報サービスの演習を通して実践的な能力を養成する。

● 科目概要

情報サービスの設計（レファレンスサービスの体制づくりを含む）の方法、各種データベースの検索技法と実際、質問に対する検索と回答、レファレンスコレクションの構築、パフファインダーの作成などの演習を行う。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	演習	情報サービスの設計（レファレンスサービスの体制づくりを含む）
第 2 回	演習	情報サービスの設計（レファレンスサービスの体制づくりを含む）
第 3 回	演習	情報サービスの設計（レファレンスサービスの体制づくりを含む）
第 4 回	演習	レファレンスコレクションの整備
第 5 回	演習	レファレンスコレクションの整備
第 6 回	演習	レファレンスコレクションの整備
第 7 回	演習	レファレンスインタビューの技法と実際
第 8 回	演習	レファレンスインタビューの技法と実際
第 9 回	演習	レファレンスインタビューの技法と実際
第 10 回	演習	レファレンスインタビューの技法と実際
第 11 回	演習	情報検索の技法と実際（各種データベースの検索演習）
第 12 回	演習	情報検索の技法と実際（各種データベースの検索演習）
第 13 回	演習	情報検索の技法と実際（各種データベースの検索演習）
第 14 回	演習	情報検索の技法と実際（電子ジャーナルの活用）
第 15 回	演習	情報検索の技法と実際（電子ジャーナルの活用）
第 16 回	演習	質問に対する検索と回答（質問の分析と情報源の選択を含む）
第 17 回	演習	質問に対する検索と回答（質問の分析と情報源の選択を含む）
第 18 回	演習	質問に対する検索と回答（質問の分析と情報源の選択を含む）
第 19 回	演習	質問に対する検索と回答（質問の分析と情報源の選択を含む）
第 20 回	演習	質問に対する検索と回答（質問の分析と情報源の選択を含む）
第 21 回	演習	発信型情報サービスの実際（パスファインダーの作成を含む）
第 22 回	演習	発信型情報サービスの実際（パスファインダーの作成を含む）
第 23 回	演習	発信型情報サービスの実際（パスファインダーの作成を含む）
第 24 回	演習	発信型情報サービスの実際（パスファインダーの作成を含む）
第 25 回	演習	発信型情報サービスの実際（パスファインダーの作成を含む）
第 26 回	演習	情報サービスの評価（レファレンス事例の作成・評価を含む）
第 27 回	演習	情報サービスの評価（レファレンス事例の作成・評価を含む）

第28回	演習	情報サービスの評価（レファレンス事例の作成・評価を含む）
第29回	演習	情報サービスの評価（レファレンス事例の作成・評価を含む）
第30回	演習	1回から29回までのまとめ演習

科目名 図書館情報資源概論	法定科目名 図書館情報資源概論
---------------	-----------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

さまざまな図書館情報資源（図書・雑誌・新聞や電子資料・ネットワーク情報資源など）の特徴から保存までの基本を理解し、コレクション形成の理論と方法、各分野の情報資源の特性など図書館業務に必要な知識の基礎を修得する。

● 科目概要

印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存、図書館業務に必要な情報資源に関する知識等の基本を解説する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	印刷資料・非印刷資料の類型と特質（図書・雑誌・新聞、主要な一次・二次資料、資料の歴史を含む）
第 2 回	講義	電子資料、ネットワーク情報資源の類型
第 3 回	講義	地域資料、行政資料（政府刊行物）、灰色文献
第 4 回	講義	情報資源の生産（出版）と流通（主な出版社に関する基本的知識を含む）
第 5 回	講義	図書館業務と情報資源に関する知識（主な著者に関する基本的知識を含む）
第 6 回	講義	図書館業務と情報資源に関する知識（主な著者に関する基本的知識を含む）
第 7 回	講義	コレクション形成の理論（資料の選択・収集・評価）
第 8 回	講義	コレクション形成の理論（資料の選択・収集・評価）
第 9 回	講義	コレクション形成の方法（選択ツールの利用、選定、評価）
第 10 回	講義	コレクション形成の方法（選択ツールの利用、選定、評価）
第 11 回	講義	人文・社会科学分野の情報資源とその特性
第 12 回	講義	人文・社会科学分野の情報資源とその特性
第 13 回	講義	科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性
第 14 回	講義	資料の受入・除籍・保存・管理（装備・補修・配架・展示・点検等を含む）
第 15 回	講義	資料の受入・除籍・保存・管理（装備・補修・配架・展示・点検等を含む）

科目名 情報資源組織論	法定科目名 情報資源組織論
-------------	---------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源の組織化の理論と技術について、書誌コントロール、書誌記述法、主題分析、メタデータ、書誌データの活用方法を通して理解する。

● 科目概要

さまざまな情報資源の組織化の理論と技術の基本を理解するために、情報資源組織化の意義と理論、書誌コントロール、主題分析、分類法などについて解説し、書誌情報の作成から提供、ネットワーク情報資源を含む多様な情報資源の組織化について解説する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	情報資源組織化の意義と理論
第 2 回	講義	書誌コントロールと標準化
第 3 回	講義	書誌記述法（主要な書誌記述規則）
第 4 回	講義	書誌記述法（主要な書誌記述規則）
第 5 回	講義	主題分析の意義と考え方
第 6 回	講義	主題分析と分類法（主要な分類法）
第 7 回	講義	主題分析と分類法（主要な分類法）
第 8 回	講義	主題分析と索引法（主要な統制語彙）
第 9 回	講義	主題分析と索引法（主要な統制語彙）
第 10 回	講義	書誌情報の作成と流通（MARC、書誌ユーティリティ）
第 11 回	講義	書誌情報の作成と流通（MARC、書誌ユーティリティ）
第 12 回	講義	書誌情報の提供（OPAC の管理と運用）
第 13 回	講義	書誌情報の提供（OPAC の管理と運用）
第 14 回	講義	ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ
第 15 回	講義	多様な情報資源の組織化（地域資料、行政資料等）

科目名 情報資源組織演習	法定科目名 情報資源組織演習
--------------	----------------

● 単位数：2 単位

● ねらい、到達目標

多様な情報資源に関する書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語彙の適用、メタデータの作成等の演習を通して情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。

● 科目概要

利用者が必要な情報・資料を迅速かつ正確に見つけるために、書誌データ作成の実際、主題分析と分類作業の実際、主題分析と統制語彙適用の実際、書誌データ管理、メタデータ作成など実際の演習により経験をつむ。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	演習	情報資源組織演習の説明、書誌データ作成の実際
第 2 回	演習	書誌データ作成の実際
第 3 回	演習	書誌データ作成の実際
第 4 回	演習	書誌データ作成の実際
第 5 回	演習	書誌データ作成の実際
第 6 回	演習	主題分析と分類作業の実際
第 7 回	演習	主題分析と分類作業の実際
第 8 回	演習	主題分析と分類作業の実際
第 9 回	演習	主題分析と分類作業の実際
第 10 回	演習	主題分析と分類作業の実際
第 11 回	演習	主題分析と統制語彙適用の実際
第 12 回	演習	主題分析と統制語彙適用の実際
第 13 回	演習	主題分析と統制語彙適用の実際
第 14 回	演習	主題分析と統制語彙適用の実際
第 15 回	演習	主題分析と統制語彙適用の実際
第 16 回	演習	集中化・共同化による書誌データ作成の実際
第 17 回	演習	集中化・共同化による書誌データ作成の実際
第 18 回	演習	集中化・共同化による書誌データ作成の実際
第 19 回	演習	集中化・共同化による書誌データ作成の実際
第 20 回	演習	集中化・共同化による書誌データ作成の実際
第 21 回	演習	書誌データ管理・検索システムの構築
第 22 回	演習	書誌データ管理・検索システムの構築
第 23 回	演習	書誌データ管理・検索システムの構築
第 24 回	演習	書誌データ管理・検索システムの構築
第 25 回	演習	書誌データ管理・検索システムの構築
第 26 回	演習	ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際
第 27 回	演習	ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際

第28回	演習	ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際
第29回	演習	ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際
第30回	演習	1回から29回までのまとめ

科目名 図書館サービス特論	法定科目名 図書館サービス特論
---------------	-----------------

● 単位数：1 単位

● ねらい、到達目標

図書館サービスに関する領域の課題について必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める。

● 科目概要

多様な図書館サービスの提供ができるよう、資料提供サービス・レファレンスサービスなどの基礎と応用について解説し、利用者に適切なサービスを提供できる知識を修得する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	図書館サービスの基礎と応用
第 2 回	講義	資料提供サービス（利用案内等）の事例
第 3 回	講義	資料提供サービス（利用案内等）の応用
第 4 回	講義	レファレンスサービスの事例
第 5 回	講義	レファレンスサービスの応用
第 6 回	講義	図書館サービスの連携・協力（図書館ネットワークの必要性）
第 7 回	講義	図書館サービスの連携・協力の事例
第 8 回	講義	利用者に対する接遇の基礎と応用

科目名 図書・図書館史	法定科目名 図書・図書館史
-------------	---------------

● 単位数：1 単位

● ねらい、到達目標

図書が人の暮らしにどう関わってきたか、図書と図書館の社会的背景をふまえ、図書の発達と図書館の歴史を理解させるとともに、今日的課題から未来像についての知識を修得する。

● 科目概要

図書の変遷、印刷技術の発達、古代図書館から現代の図書館までの歴史を解説し、現代の図書館の課題と今後の図書館のあり方について解説する。

● 授業計画

	講義・演習・実習の別	各回の講義内容
第 1 回	講義	図書の歴史（文字の発達・図書の変遷）
第 2 回	講義	図書の歴史（製紙法の発明・印刷技術の発達と図書の普及）
第 3 回	講義	図書館の歴史（古代の図書館）
第 4 回	講義	図書館の歴史（中世の図書館）
第 5 回	講義	図書館の歴史（西洋の図書館）
第 6 回	講義	図書館の歴史（現代の図書館と情報革命）
第 7 回	講義	図書館の歴史（現代図書館の課題）
第 8 回	講義	図書館の歴史（図書館の未来像）